

ノン・プロジェクト無償資金協力(セントビンセント)  
**「途上国の要望を踏まえた工業用品等の供与」供与式の開催**

2016年10月31日  
在トリニダード・トバゴ日本国大使館  
経済・開発協力班

10月31日、ノン・プロジェクト無償資金協力「途上国の要望を踏まえた工業用品等の供与」により供与された資機材の供与式典が、セントビンセント及びグレナディーン諸島のキングスタウンに所在する危機管理局にて開催されました。本件は、東日本大震災の被災地で製造される工業用品等を開発途上国からの要望に基づいて ODA として供与を行い、それをもって同国の経済開発を支援することを目的として、1億円の無償資金が供与され、主な供与物品として、災害時に活躍する指揮車両が危機管理局及び警察に、捜査において利用される一眼レフカメラが警察に、機器等の滅菌に利用されるオートクレーブが同国最大の病院であるミルトン・カト記念病院に、また患者や障害のある旅行者のための車椅子が同病院及び空港に供与されました。

同式典には、先方からストレーカー副首相兼外務・貿易・商業大臣、ハダウェイ警察長官を始めとして危機管理局、保健省など政府関係者が、我が方からは岡田大使、浦二等書記官、その他メディア関係者など約 30 人が参加しました。

挨拶の中で岡田大使は、日本とセントビンセント及びグレナディーン諸島の間の長年の友好関係に触れるとともに、本工業用品等の供与が、セントビンセント及びグレナディーン諸島の経済の発展に貢献することを期待する旨述べました。

ストレーカー副首相兼外務・貿易・商業大臣は、環境・気候変動対策無償資金協力「気候変動に対応するための日・カリブ・パートナーシップ計画(UNDP 連携)」にも触れつつ、長年の支援に対する日本国民と日本政府への謝意を述べ、引き続き日本との協力関係を維持する旨述べました。

日本国政府は、今後とも両国の友好関係と相互理解を強めるため、様々な分野でセントビンセントに対する開発支援を実施していく考えです。

お問い合わせ  
在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済・開発協力班  
Tel: +(1-868)-628-5991 Ext. 222  
E-mail: ecocoop@po.mofa.go.jp



車いす, オートクレーブ, 一眼レフカメラ等を供与する岡田大使(中央右)



ハダウェイ警察長官(右)に指揮車両を供与する岡田大使(左)  
(中央はストレーカー副首相兼外務・貿易・商業大臣)

お問い合わせ  
在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済・開発協力班  
Tel: +(1-868)-628-5991 Ext. 222  
E-mail: ecocoop@po.mofa.go.jp